なりに理解し、疑問に思っている事は、まずライオン設立以来（一九一七年）より八十年間、YEとかレオとかいろんな事が設立され維続されている事だと思いますが、時代は日進月歩、いやもっとすごいスピードで進んでいることは言うまでもないことです。それなのに、時代背景を考えずにいつまでも固守していく事はどうかと思います。今日は簡単にだれもが海外旅行、ホームステイ、留学等、めずらしくも何でもない事、それなのに多額の費用、労力をついやして、ごく少数の人が体験して来るだけで、後々その体験を生かして、社会につくしてくれる人が出来るのでしょうか。同じ金と労力を使うならもっと今の時代にマッチした事を考えてみてはいかがでしょう。

トップガン

L　安井一清

肺癌の死亡率は現在トップです。その原因は、タバコや大気汚染、食べ物に含まれる有害物質などと考えられていますが、避けられないものも多いのです。肺癌は四十五歳以上の男性に多く、そして肺癌の死亡増加率は年間約十％で、この増え方は世界一の急上昇です。

増加原因として、まず**タバコの害**。喫煙と肺癌との相関関係は強く、**喫煙者の周りの副煙流**は非常に**危険**です。タバコを吸わないL（家族）のためにも**例会では禁煙の徹底を**！愛煙家のLにも**肺癌検診の必要性を**！一日二十本以上のタバコを二十年以上吸い続けている人は高率（非喫煙者の十倍以上）に肺癌にかかり、又タバコ以外にも、排気ガスなどの有害物質を吸う機会が多くなっていることも肺癌倍増の原因とされています。これらのことは周知のことですが、肺癌は早期に発見されれば転移が少なく治癒率も非常に高い（五年生存率九十％以上）ということを是非、知っていただきたい。早期発見のポイントは六ヶ月に一度、X線検査と痰の検査をすることです。肺癌も他の癌同様、早期には症状がないので定期検査が必要になってきます。特に痰の中に糸を引くような血が混じったり、風邪気味の状態が長く続き胸痛を呈したときなどはできるだけ早く主治医の診察を受けて下さい。

臭い物にはふた？

L　中筋光芳

日頃より暇を見つけては読書をしています。殆ど戦記物ですが、最近の傾向としては、戦闘場面よりも経済、時代、背景、心理、描写が多いように思います。今年ももうすぐ、終戦記念日ですが、ただお決まりのセレモニーに終始する事なく、なぜ日本国民が熱病のごとく戦争に突入したのか、当時の大新聞まで戦争を正当化していた事実など、多くの興味深い事柄があります。そして我々日本人はどうも臭い物にはふたをしたり、過ぎた事（思い出したくない事）は分析したり研究したりしない民族のようであります。

しかし、太平洋戦争の本当の総括をしないかぎり、日本の将来はないように思います。

入会して

L　武藤清和

今年の人事異動により、前任支店長の交替会員として入会させていただきました。

入会後日が浅く、出席しました例会、三十周年記念特集号の「七本槍」、機関誌「七本槍」を拝見し、木之本の文化に根ざし、諸先輩より引き継がれた伝統と歴史の重みを感じ、一層身の引き締まる思いです。又、その木之本ライオンズクラブに、一会員として身を置く機会を得ました事、私の人生に於いての貴重な体験であります。残念ではありますが、私の会員としての期間は限られておりますが、諸行事に参加する中で会員の皆様との交流を一層深め、得ました体験を今後の業務、人生に役立たせていただきたく思います。

又、この得難い出会いを、会員として籍を置く期間にとどまらない事を願っております。

雑感

L　谷嶋昭吾

いつも静まりかえる家並み、何時となく人が減り空き家が目立つ過疎の町にも、ここ一週間は車が列をなし、人は二倍にも三倍にと溢れる。

着飾った人々が道行きで笑みを浮かべながら田舎の自然に満喫されている姿が活況を呈している。寺院の本堂も霊園も満杯、挨拶や談笑の花盛り、どの顔も我が村からでた人ばかり懐かしさが街を包む。老婆の押す乳母車も燥いで見える。どの家も急に家族が増え大きい声に包まれて和やかさで一杯。何時の時代かを思い出す一時でもあった。その裏を質素な普段着で小鼠の様に走り廻り食事に精を出す役者もいる。食事と食器洗いで日が暮れる。何ら不平不満も言わず黙々と精を出す。何か紋日となると多忙を極める田舎相続の役者に声援と感謝を忘れてはならない。

誰しもが経験したことのない少子高齢化の社会に足を踏み入れている。過疎化の町今日も家が歯抜けになる淋しさを越えて、先祖や家、又町を必死で相続し、次の世代に引継ぎたい。そして又、次の紋日には大勢の故郷帰りをお待ち申しております。世の中に不要なものはないことを強く感じているこの頃です。

相続税の節税

L　高橋七郎

最近、湖北地区においても相続税が課税される者が多くなってきています。生前にちょっとした特例を活用しておけばかなりの節税になっていたのに、その特例を知らなかった方が多いようです。そこで贈与税の配偶者控除について述べてみましょう。

夫婦間で居住用不動産などを贈与した場合には、基礎控除のほかに最高二、〇〇〇万円までの配偶者控除があります。これは、

①結婚して二〇年以上の夫婦であること。

②贈与を受けた年の翌年三月十五日までに居住すること。

③以後も引き続き居住する見込みであること。

の用件をすべて満たしたときに適用されます。居住用不動産などの価格が二、〇〇〇万円に満たないときは、その金額までしか控除されず、控除されない残額を翌年以降に繰り越すことはできません。

配偶者控除を受けようとする人は、

①戸籍謄本又は抄本（贈与を受けた日から十日を経過した以後に作成されたもの）

②戸籍の附票の写し（①と同じ）

③贈与によってもらった財産の登記簿の謄本または抄本

④住民票の写し（贈与を受けた財産に居住した日以後に作成されたもの）

を添付して、贈与税の申告を提出しなければなりません。

彼の夏

L　谷口武男

我家には、今注目の中学三年生男子生徒というのがいます。彼の生活は、部活「命」の毎日、時々勉強も忘れないように注意をしようとすると、上手にすーっと姿を消す。学校を休んでも部活だけは行きたいらしい。じっと彼を観察していると非常に面白い。彼は弱小サッカー部のキャプテンをしています。才能は中くらい。チームの中にずば抜けたセンスの子がいるが、サボリ。何人かのサボリをまとめないと公式戦一勝もせず三年間を終わらなければならない。そこで彼は考えたのです。放課後、彼らをしっかりつかまえて練習につれ出す、土曜日は自分の家に連れて来て昼ごはんを食べ、一緒に練習に行く。体操服を忘れると、自分のを貸す。どうしたら強いチームになれるのか彼なりに考えた行動なのです。そして春の大会では県内ベスト16にまでなれました。夏は、県体出場をかけての最後の試合、強豪揃いの中で決勝戦までこぎつける事ができた。湖北No.1チームとの決勝戦、惜しくもPK戦で負けてしまったが「今まで一番頑張ったんや」とさっぱりした顔で言った。

こうして彼の夏は終わりました。

PR

L　脇坂宇市

毎年年間を通じて数多くの事業がかなりあります。アクトとして広報委員会においてそのつど写真と記事などを記録して、年度別にファイルしておくのが大事ではないかと思います。将来特集号の発行に役立つと思います。

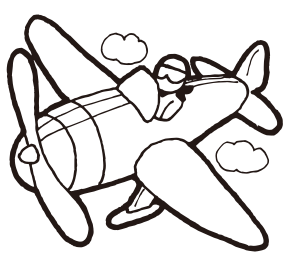
又、特にいいアクトの場合に写真と記事をキャビネットのPR委員に送ることも必要ではないかと思います。

コルブ社訪問記

L　中井義成

七月十八日十八時、私と共に飛行を趣味としている長男を連れて、関西国際空港を出発した。退屈な長い空の旅も、たまたま機内で隣席になった娘さんと話がはずんだことで、時間も忘れ現地時間十四時三十分に無事サンフランシスコへ到着した。その後早速トランクをオシコシのビリー宅へ送って身軽になり、レンタカーで市内を見物し、二十時三十分にホテルへ入った。翌日九時三十分、サンフランシスコを出発、フィラデルフィアまでは四人席に二人だけの楽な旅がつづき、十七時に到着。そこからレンタカーで約四十分程走り、今回の目的地であるフェニックスビルへ到着した。午後には、小生二回、息子一回の体験飛行に三時間余りもサービスしてくれた。又、機体点検も日本のマニュアル通り確実に行っているようだ。操縦はダン氏、機体は小生のと同じマークⅢでエンジンはロータックス912。五十m足らずの滑走で三十五度位の急上昇をして、高度四〇〇m位で水平飛行に移り、トリムレバーを直して手放し飛行もして見せた。続いてフルスロットで四十五度以上の急上昇でストールに入るとアイドリングにして垂直降下三十m余りでゆるやかな水平飛行に戻った。今までに四十五度迄の経験しかなかった小生は内心驚いてしまった。又、空域の規制がないせいか、地上との交信設備もないマイクロ機が自由自在に飛び廻り、地方空港に着陸したりで、さすが日本とは違うなあと実感した。

翌日、管制塔のある普通空港に着陸し、誘導路を走っていると、空港警備員の車から警備員が走って来て、突然停止させられ、風防を少し開けて、いきなり大声で何か言ってきた。我々がびっくりしていると警備員はニヤッとして何事もなく帰ってしまった。後で別の人に尋ねるとガス欠だと言ったとのこと。一時はどうなる事かと心配してしまった。しかし、そのまま駐機場に入り、注油しようとタンクをのぞいたところ、残量がまだ2／3もあるのに思わず吹き出すと共に、そのような緊迫した状況の中でも平気で頓知を働かせるアメリカ人のウィットさに感心した。

その後二日間は時間当たり$60で息子と共にのんびりと異国でのフライトを楽しんだ。

以前から一度来てみたいと思っていた愛機の故郷へ元気なうちに来ることができて、ほんとうに嬉しく感謝した旅だった。